

「国民皆歯科健診」 実現に向け、 第一歩を踏み出す!

参議院議員 山田 宏



自民党

令和4年1月1日

発行: 山田宏よい国後援会機関紙

ニュース

新年おめでとうございます。
今年「壬寅(みずのえ・とら)」。「壬」は糸巻きが糸で膨らんだ象形文字で、「はらむ(妊)」の意味であり、「寅」は家の中で真つ直ぐ弓を引く姿を表しています。つまり、「壬寅」の年は、昨年の「辛丑(かのと・うし)」の「痛みを伴いながら、表面化した新生の働き」がいよいよ「満を持してくる」年であり、その働きは来年の「癸卯(みずのと・う)」の「生まれ出る」年に明確に現れてくることとなります。

「歯科」が初めて 自民党の公約に

昨年の総選挙では、6月に発足した国民皆歯科健診実現議連の要望を受け、自民党の公約に「生涯を通じた歯科健診の充実(国民皆歯科健診)を進めます」と初めて「歯科」が記され、政権政党として国民に「国民皆歯科健診」の実現を約束しました。今年はこの「新生の働き」を、「満を持して」実現に向け第一歩を踏み出す年にしたいと思います。

そのためには、まず自民党内に正式に「国民皆歯科健診実現のための検討チー

ム」を立ち上げ、歯科界の意見も踏まえ、各省庁の協力のもと高校まで義務の歯科健診を全ての国民が年一回は受診する体制づくりに向け、課題を整理し、必要な政策に順次予算付けをしていくことが必要となります。

そしてその先には、労働安全衛生法の定める「一般労働者の健康診断項目」の中に「歯科健診」を加えるための法改正を実現し、全ての勤労者に対して健診時に歯科健診を実施することで口腔の健康を保ち、疾病予防につなげ、その結果からなくても良い医療費を抑えて国民皆保険制度を維持していくとするものです。

民間保険会社も 「残存歯数」で 保険料割引に

そんな中、第一生命ホールディングス傘下のネオファースト生命保険が、70歳時点での「残存歯数」に応じて保険料を割引く認知症保険の発売を昨年12月より始めました。

この取り組みは、認知症限定とはいえ「残存歯数」との関連を認め、民間生命保険会社が初めて商品化したという点で画期的で、ネオファースト生命のホームページでは、「『歯の健康度』と認知症リスクとの関係が様々な研究で明らかにされていることに注目し、『歯の健康度』による保険料割引の仕組みを導入した」とあります。

また「近年、口腔環境とさまざまな全身の疾病に相関関係があり、口腔衛生を維持・改善することが健康寿命の延伸につながる」とも記され、今後は一般の疾病保険でも口腔の健康と保険料を連動し

た商品が発売されていくことにも大いに期待されるところです。

「かつてない困難から、 かつてない飛躍が」

今歯科界はコロナという「かつてない困難」に直面しています。一方歯周病とコロナの感染や重症化との関連を数々の学術論文が指摘し始めており、コロナの今だからこそ定期的な口腔管理の重要性を訴え、政策として位置づける機会でもあります。

また今年から「団塊の世代」の方々が後期高齢者に入り始め、医療費の急増による国民皆保険制度の存続が危惧されていますが、そんな今だからこそ「病気になるまい、なつても重症化しない」ための疾病予防や健康政策に国の政策の重心を移し、その中心に口腔の健康をすえる機会でもあります。

私は、松下幸之助氏から「かつてない困難からはかつてない改革が生まれ、かつてない改革からはかつてない飛躍が生まれ」と教えられました。私たちは今「かつてない困難」にありますが、これは「かつてない飛躍」につなげている絶好の機会とらえています。

私は今年も歯科の明日を拓くことで、日本の将来を明るくしていく決意です。



▲高市政調会長に「国民皆歯科健診」の公約化を要望(2021年10月5日)
▼令和3年自民党政策パンフレット



○国民皆保険を堅持し、予防・健康づくりの取り組みとともに、小児・周産期医療、救急医療等の確保、医師偏在対策、医師の働き方改革、生涯を通じた歯科健診の充実(国民皆歯科健診)、かかりつけ薬剤師・薬局の普及、看護職の確保対策を進めます。(一部抜粋)

参議院 厚生労働委員長に就任

昨年12月の臨時国会で、山田宏は山東議長より参議院厚生労働委員長に指名され、同月6日に就任しました。

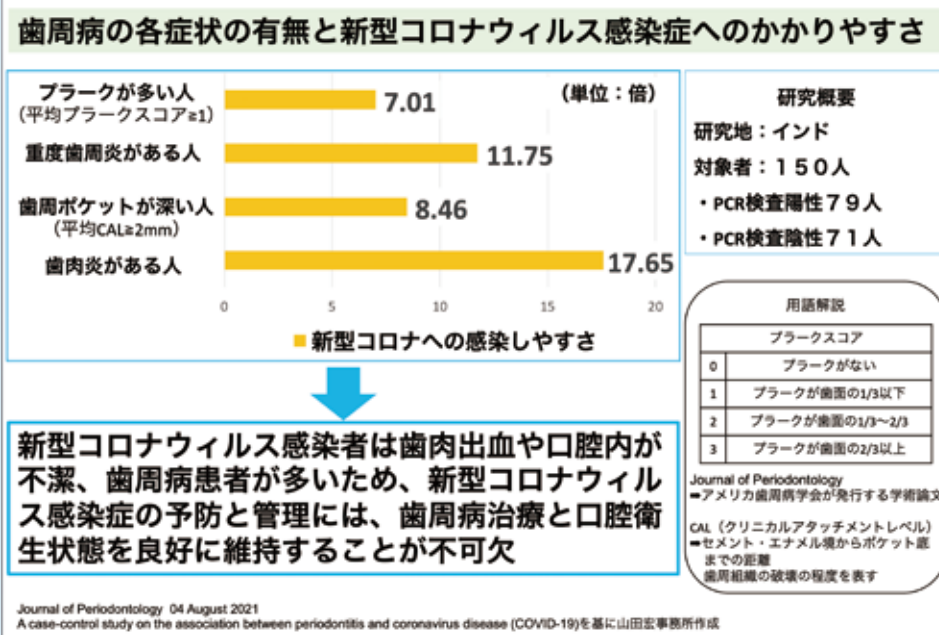
厚生労働委員会は厚生労働省の事業や予算を所管し、喫緊のコロナ対策はもとより、医療、介護、子育て、労働政策など広い分野の審議を行う委員会です。委員長は充実した審議を公平公正に進める責任を負っており、しっかりと国民の負託に応えていく決意です。

特に社会保障は国民の安全安心の要であり、ここが揺らぐと国民生活や経済、そして安全保障など国が疲弊していく原因となります。「天寿まで誰もが健康でいられる日本」「教育の充実した子供が増える活力ある日本」を心に、しっかりと職責を果たしてまいります。

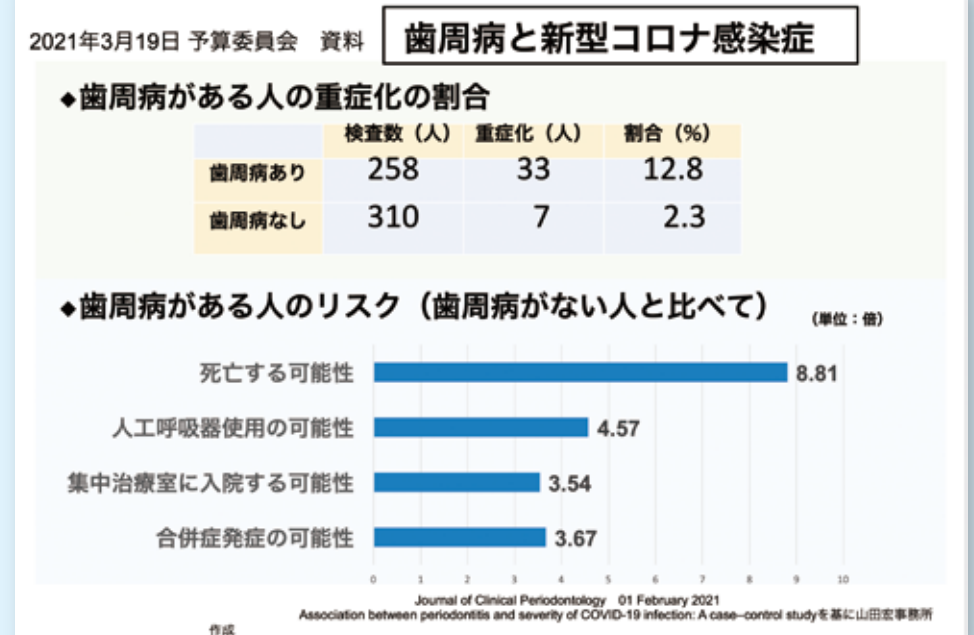
▼厚生労働委員長室にて



▼表2 A case-control study on the association between periodontitis and coronavirus disease (COVID-19)



▼表1 2021年3月19日 予算委員会 パネル資料 歯周病と新型コロナ



**歯周病が
コロナの感染や
重症化を促す！
数々の学術論文で指摘**

歯周病の学術誌「Journal of Clinical Periodontology」の昨年2月1日の論文は、歯周病のある人のコロナ重症化の割合が12・8%であるのに対し、歯周病のない人は2・3%と5倍以上の差があると指摘しています(表1)。

また別の歯周病学術誌「Journal of Periodontology」の昨年8月4日の論文は、歯周病の症状のある人はコロナに感染しやすいことを指摘しています(表2)。

私も杉並区長の時に、ブラッシング指導を行なった小学校と行っていない小学校のインフルエンザによる学級閉鎖率が、前者が43%だったのに対し後者は79%に上り、感染症と口腔ケアとの関連を実感した経験があります。

約100年前のスペイン風邪が猛威を振るった時代にも、ウェストン・プライスという人による「歯周病の人はウイルスに感染しやすい」との論文があります。

口腔の健康を保っていくことが、コロナの今だからこそ大切なのです。

山田宏 YouTubeチャンネル (毎週配信しています) 歯科関係ラインナップ

YouTube 静まる成人式
杉並区長時代の山田宏の『英霊の遺書』講演



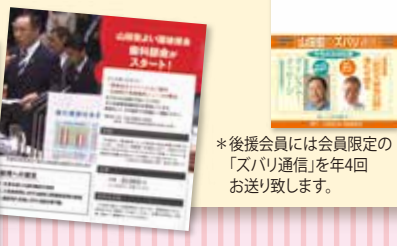
山田宏 (やまだ ひろし) プロフィール (2022.1現在)

参議院議員 (自由民主党)
厚生労働委員長
朝日大学歯学部 客員教授
日本歯科医師連盟 顧問
元防衛大臣政務官 兼
内閣府大臣政務官

昭和33年 (1958年) 1月8日生まれ。
京都大学法学部卒業。
松下政経塾第2期生。
東京都議会議員 (2期) ・
衆議院議員 (2期) ・
杉並区長 (3期)

山田宏よい国後援会 歯科部会 にお入り ください!

「骨太方針」2017から2021まで連続で、年々文字数も増え、歯科の重要性が充実した内容で記載されています。次は「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いてまいります。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。



*後援会員には会員限定の「スバリ通信」を年4回お送り致します。

山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、YouTubeでご紹介しています

山田宏公式サイト: www.yamadahiroshi.com

山田宏公式Facebookページ:

<https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/>

山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo

山田宏 YouTubeチャンネル:

<https://www.youtube.com/user/YamadaHiroshiCom>

チャンネル登録をお願いします!! ▶

—昨年10月より週一回 (土曜17:15) 配信を始めましたYouTubeチャンネル、もうご覧いただいておりますでしょうか? 山田宏の数多い引き出しの中から、国民の方々に知っていただきたいことを発信していきます。各回10分程度の動画です。どうぞ、周りのお知り合いの方々に山田宏の考えをお広めください!

お問い合わせは
こちらにお願い
いたします。

山田宏 国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1205号室

Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205

公式サイト



Facebook



ツイッター



YouTube



山田宏の
デンタルマガジン
(月2回配信)